

好き

を表現する

藤子不二雄

(藤子・F・不二雄/藤子不二雄[Ⓐ])

と

戦後日本の

ファン文化

稲垣高広×山田夏樹

マンガ文化研究家

日本語日本文学科准教授

第13回昭和女子大学日文公開講座

昭和女子大学コスモスホール(三軒茶屋)

令和7年

11月1日(土)

14時00分↓15時30分

※開場:13時30分

※オンライン配信もあります。

近年、「推し」といった語などに象徴されるように、好きなものを愛で応援し、自己表現をしていることが当たり前ようになっていきます。

一方そこで、お金を使うこと、経済をまわすこと自体が一つの〈文化〉のようになっていく状況を懸念する声もあります。

そうした中、今回の講座では「ドラえもん」「笑ゥせえるすまん」など誰もが知る作品を多数生み出した藤子不二雄という国民的なマンガ家と、その愛読者のあり方を一つの例にすることで、戦後日本のファン文化のあり方を問い直してみたいと思います。

好きな対象について語り、表現し形にしていくことの面白さ、難しさ。またそれらの行為が、人生に何をもたらしていくのかということを、実例を通して考察していきます。

主催:昭和女子大学日本語日本文学科(03-3411-5019)

Design: 鷺野宏デザイン事務所

参加無料・要予約



申込はこちら

第13回昭和女子大学日文公開講座 登壇者プロフィール

稲垣高広

いながき たかひろ
マンガ文化研究家

1968年、愛知県生まれ。2004年からブログ「藤子不二雄ファンはここにいる」を運営中。

著書に『藤子不二雄①ファンはここにいる』全2巻、『ドラえもんは物語るー藤子・F・不二雄が創造した世界』（いずれも社会評論社）がある。『Pen+ マンガの神様/手塚治虫の仕事。』（CCCメディアハウス）、『映画ドラえもん超全集』（小学館）、『まんが道大解剖』（三栄書房）、『完全解析！石ノ森章太郎』（宝島社）などに執筆者として参加。京都国際マンガミュージアムの「藤子不二雄①トークショー」に代表質問者として登壇。

藤子不二雄デビュー60周年記念番組『まんが道をゆけ!』（NHK）に出演、『マツコ&有吉の怒り新党』（テレビ朝日）の「藤子・F・不二雄らしからぬ 新・3大異色な物語」で作品選定・コメントを担当するなど複数のテレビ番組にも関わっている。

山田夏樹

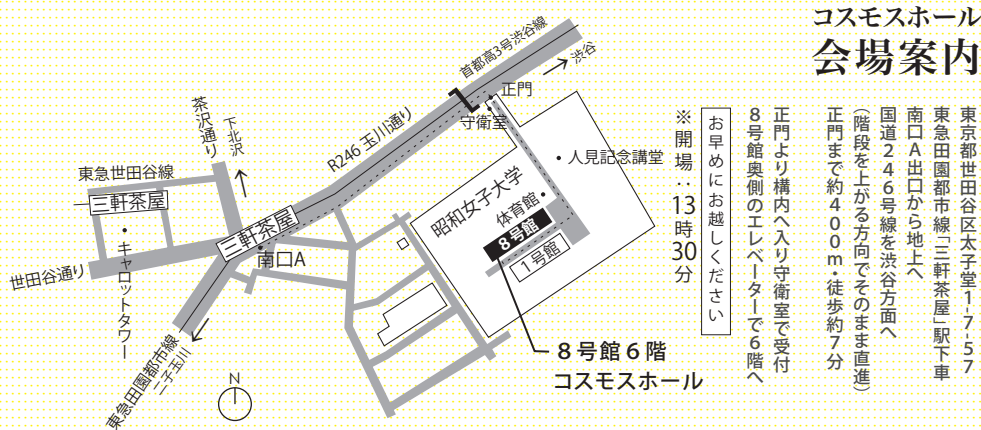
やまだ なつき
日本語日本文学科准教授

1978年、東京都生まれ。立教大学大学院博士課程後期課程単位取得満期退学。博士（文学）。専門は日本近現代文学、文化。

著書『ロボットと〈日本〉』（立教大学出版会）、『石ノ森章太郎論』（青弓社）、『「ドヤ街」から読む「あしたのジョー」』（昭和女子大学近代文化研究所）、『〈私〉の拡大と物語の現在』（ひつじ書房）。

共編著『卒業論文マニュアル』（ひつじ書房）、『文学理論と文学の授業を架橋する』（東京学芸大学出版会）。

共著『夏目漱石 修善寺の大患前後』（昭和女子大学近代文化研究所）、『FLORIEN-TALIA』（FIRENZE UNIVERSITY PRESS（フィレンツェ大学出版会））など。



コスモスホール 会場案内

東京都世田谷区太子堂1-7-57
東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車
南口A出口から地上へ
国道246号線を渋谷方面へ
（階段を上がる方向でそのまま直進）
正門まで約400m・徒歩約7分
正門より構内へ入り守衛室で受付
8号館奥側のエレベーターで6階へ
お早めにお越しください
※開場…13時30分

お申し込み方法

昭和女子大学 日文



スマートフォンからはQRコードでアクセス

① 日文公開講座のページへアクセス

<https://www.swu.ac.jp/swuhp/university/nichibun/openlecture.html>

② 申し込みフォームにメールアドレスなどを入力し送信

後日、参加方法を記したメールをお届けします。

お問い合わせ：昭和女子大学日本語日本文学科（03-3411-5019）